

【今月の目次】

- 1.夏期研修会について
- 2.研究支援について
- 3.ICT活用ワンポイント講座(拡大・縮小のキーボードショートカット)
- 4.コラム「パスワードの使いまわしをしていませんか？」



1.夏期研修会について

ICT教育支援センターでは、夏の研修期間中にICTや情報・教育データの利活用に関する13の研修を企画・運営しました。研修の内容は、Microsoft TeamsやGoogle for educationの授業等での活用、生成AIの校務等への活用、ScratchやmBotを活用したプログラミング教育、iPadを活用した授業づくり、情報セキュリティの基本やネットトラブルへの対応など、教員のICTスキルの向上を目的とした多岐にわたるものでした。参加者からは、「実際にツールを使ってみることで、授業での活用イメージが具体的に変わった」、「他の教員との意見交換が非常に有意義だった」といった声が多く寄せられました。

現在、教育センターでは、夏期研修の振り返りをもとに、次年度の研修会の企画会議を行っています。ICT教育支援センターにおいても、先生方の要望やICT教育の最新の動向も踏まえて、引き続きICTの利活用に関する研修を企画・運営し、先生方のスキルアップを支援していきます。なお、10月3日(木)には、情報モラルの研修として「学校における教育活動と著作権に関する研修会」をオンラインで実施する予定です。



2.研究支援について

総合教育センターでは、各学校の研究を支援する仕組みがあり、その成果を毎年2月の研究大会で紹介しています。ICT教育支援センターでは、毎年1校に対して1年間のICT活用支援を行っており、今年度の対象校は県立都留高等学校になります。

都留高校では、生徒一人一台の端末活用を推進するため、授業の振り返りにICTを活用する方法を模索しています。支援の一環として、7月に先生方を対象とした研修会を開催しました。内容は、県立学校で利用できるMicrosoft 365の活用をテーマに、「OneNoteを振り返りに活用しよう」という講義と演習を行いました。今後もICT活用が進むよう支援を続けていきます。

1年間という短い期間ではありますが、支援対象校が研究を進める際の困りごとを一緒に解決できればと考えています。なお、ICT活用支援の対象校はすべての校種です。



3. ICT 活用ワンポイント講座（拡大・縮小のキーボードショートカット）

プロジェクターや電子黒板に PC の画面を投影している時に使えるキーボードショートカットです。「拡大鏡」アプリを呼び出し、操作するためのショートカットキーです。

- 拡大は、「Windows」キーを押しながら「+」（「；」キー）
- 縮小は、「Windows」キーを押しながら「-」
- 拡大・縮小を終了するときは、「Windows」キーを押しながら「Esc」

なお、拡大・縮小は何度も押すとさらに拡大・縮小されます。



4. コラム「パスワードの使いまわしをしていませんか？」

最近、様々な場所でパスワードの入力が求められるようになりました。100 円ショップでも「パスワード管理ノート」が販売されています。同じパスワードを使いまわすと、情報漏えいが起きた際に他のサイトへ不正アクセスされる可能性があります。以下の対策を参考に自身にあった方法を考えてみてください。

●パスワードをメモする

紙で管理するのが最も簡単です。他にも、Google Keep などのスマートフォンで使える「メモ」アプリを使って記録するのも便利です。特にインターネット上に保存されるメモアプリであれば、様々な場所から確認ができます。

●ブラウザのパスワード管理ツールを利用する

Google Chrome や Microsoft Edge の「パスワード保存」機能を使うことで、複数端末で自動でパスワードが同期されます。

●パスワード管理専用の外部サービスを利用する

1Password、LastPass、Bitwarden などのサービスを利用します。無料版と有料版があるので、よく調べてから使いましょう。

このような方法を確保した上で、覚えるのが困難な複雑なパスワードを作り、使いまわしを避けることが重要です。Google Chrome にはパスワードの自動生成機能もあります。また、Google のパスワード管理機能「パスワードマネージャ」には、パスワードの使いまわし、漏洩チェック、不正利用検知の機能があります。パスワードを付箋に書いて PC に貼るのはダメ、絶対です！



おまけ いまさら聞けない用語解説

今月の用語「A I 【エーアイ】」

人工知能（Artificial Intelligence）の略称。A I という言葉は、1955 年に米国の計算機科学者ジョン・マッカーシー博士が作った言葉で、ダートマス会議（1956 年）の開催提

案書の中で使われました。A I については、いまだ国際的に合意された定義はありませんが、人間の思考プロセスと同じような形で動作するプログラム、あるいは人間が知的と感じる情報処理・技術といった広い概念で理解されています。日本産業規格(J I S)においては、「人工知能システム、A I システム」とは、「人間が定義した所与の目標の集合に対して、コンテンツ、予測、推奨、意思決定などの出力を生成する工学的システム」と定義されています。【出典：令和6年版 科学技術・イノベーション白書(文部科学省)】

各校で取り組んでいることや取り組もうとしていることへの支援に加えて、ICT 機器やソフトウェア、ネットワーク等に関する相談支援や学校訪問など随時対応しております。校内研修や研究会において、ICT 教育支援センターを活用していただきたいと思います。お気軽にご相談ください。

山梨県総合教育センター ICT 教育支援センター

〒406-0801 山梨県笛吹市御坂町成田 1456

TEL:055-262-5508(直) /FAX:055-262-5572

お問い合わせは [こちらへ](https://forms.office.com/r/wyuB8BRNg2) <https://forms.office.com/r/wyuB8BRNg2>
